

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



之には今知るべし一月も前が
う姿をお見せして、ましたか、いま
も着任されましたね。あらためて、どう
ぞよろしくお願ひ致します。
木々がみずみずしく若葉をまとい、
梢をゆゆす季節が来ている。
万葉集に八三箇山木末（おれ）に住まほむ
ささひの鳥狩つごとく我待ち度せむ
という歌がある。
古き時代、梢は木末と表記したらしい。
さらに時をさかのぼると、梢は「末」と
書いたり「末」と書いたり
どちらでもよかたという。
末路と未来を、ゆゆゆ木々の枝
先に同居させたかのような不思議な
漢字の成り立ちである。
平成という時代の枝が末路を迎え



▲ お野立所 西陛下が御臨席の際に御着席されるお野立所の建設が完成する日も近い。

令和が始まりました。元号が改
まったことで生活が変わる
わけではないけれど、未来
をよきものにするよう心
新たに作る区切りとしまし
よう
へおそく人間は、どんなに
希望のない末路に追いこ
まれても、そこになおかつ
未来を必死で見まうと
するのではなないでしょうか
軍威を振り返るだけでも
多くの人が思い当たります
災害などに追いこまれたが
ら、そのために必死に未来
を真っめてきた。
そうしてまさに今、みんな
新しい梢の同じ枝先にいる。

▼ お野立所素材は、設楽町のヒノキ、豊根村のスギで建設おおい技術です。



▶ 日経、読売新聞毎日毎日、5紙にわたる一面見出しあり。